

【遊びの経過】

「寝返る→座る→はう→歩く」と自ら体を動かせるようになったことを喜び、楽しんでいくうちに、全身を使ってよじ上ったり、くぐったり等して遊ぼうとする姿が多く見られるようになってきた。

【ねらい】

思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。

【0歳児の活動

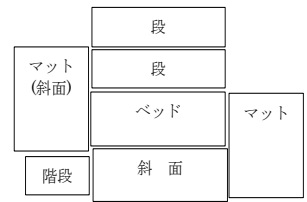
★環境の構成

■保育者の援助】

★一人一人の発達に合わせて楽しく安全に遊べるように、段差、空間を用意する。

○ 腕、膝、足等を使って段差を上り下りする。

★環境構成図



できるかな。【好奇心】【意欲】【夢中】

ぼくも行けるかな。【人のかかわり】【模倣】【判断】

手も足も伸ばして…あとちょっとだ。【チャレンジ】【多様な動き】



やったあ。上れた。【満足感】【喜び】

下りられるかなあ。
【チャレンジ】【好奇心】【思考】



嬉しいなあ。もう一回やってみよう。
【自信】【意欲】

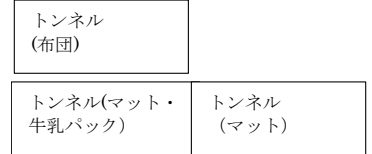
あっちの遊びもやってみよう。
【意欲】【興味・関心】

- 色々な高さや硬さの台やマットを組み合わせ、自分の力を試しながら、次のステップへ挑戦できるようにしていく。
- 上りきった時には、共に喜び、「もっとしてみよう。」と思えるように、保育士も一緒に上り下りを楽しみ、遊びを盛り上げていく。
- つかまることや座って足から下りること等、理解しやすい言葉で声をかけたり手を添えたりして、安全に下りられるようにしていく。

★トンネル内の空間の大きさを変えられるように、布団や牛乳パック製の台を用意しておく。

○トンネルをくぐる。

★環境構成図



でこぼこ、ふわふわしているなあ。
【触感】【興味・関心】

こうやって出してみようかな。
【好奇心】【動きの工夫】

もっと行ってみたいなあ。
【意欲】【好奇心】【期待】



もう少しで出られるぞ。【チャレンジ】【見通し】



せまかったなあ。【気づき】【動きの工夫】

やっと出られた。【達成感】【喜び】【開放感】

- 出口付近からのぞき、「おいで。」と誘うことで、入ってみようと思えるようにしていく。
- くぐれた時には、「やったあ。」と声をかけたり抱きしめたりして喜びを共感し、繰り返してみようという意欲につなげていく。
- 慣れてきたら布団や牛乳パック製の台などをトンネル内に入れ、狭いところをくぐることで、自分の体の動かし方に意識を向けられるようにしていく。

【評価】

・保育士に誘われたり友だちが遊ぶ姿を見たりして、上る、はう、くぐるなど、自ら体を動かすことを楽しんでいる。